

# ゆし! のひろげ



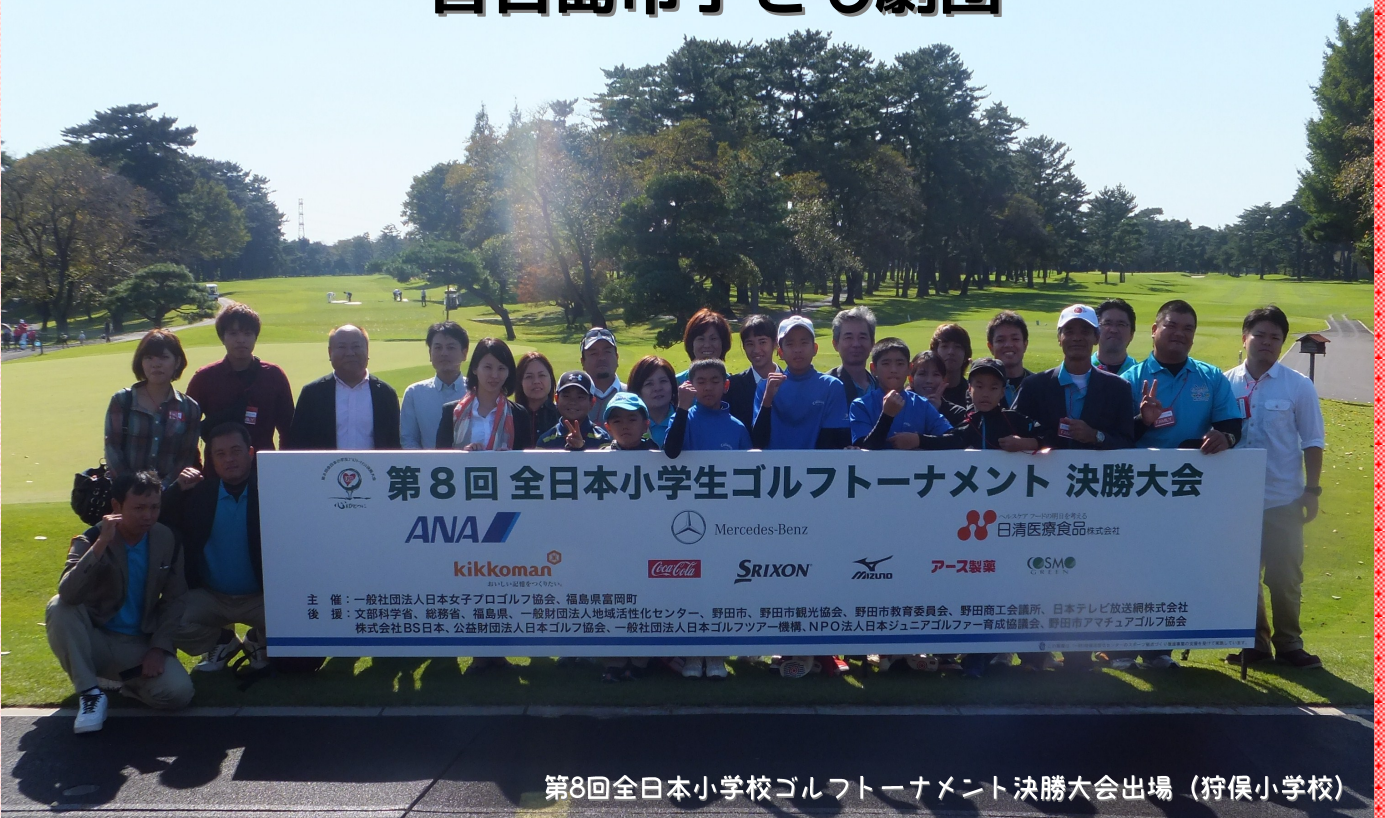
宮古島市教育委員会  
広報誌

第9号

2013/12/3発行

個性豊かな文化をはぐくみ、一人ひとりが輝く島

## 特集 オリジナル創作劇に挑戦！ —宮古島市子ども劇団—



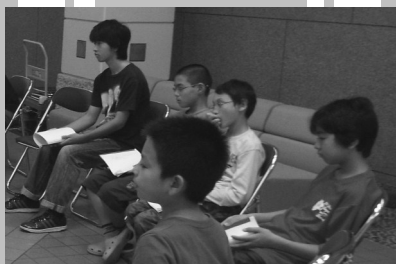
### CONTENTS

- ◆ 第8回宮古島市民総合文化祭(児童・生徒の部) 生涯学習フェスティバル
- ◆ 狩俣小学校・スナッグゴルフ部 全国4位と大健闘!
- ◆ 下地中学校がICT活用した授業公開!
- ◆ 第1期研究員が教育研究所に入所しました
- ◆ 教育委員会定例会・臨時会開催状況
- ◆ TOPICS

### 連載1 パニパニ☆スクール 下地中学校

「与那覇湾(サニツ浜) 清掃活動」

### 連載2 文化財を巡る 「乾隆三十六年大波」碑



## オリジナル 創作劇に挑戦!

### 宮古島市子ども劇団

もうすぐ設立3年目を迎える宮古島市子ども劇団は、小学校5年生から高校3年生までの33名が所属しています。表現する楽しさ、演じる楽しみ、他者を演じることで自分を知り、夢を語り合うことをコンセプトとしている劇団で、劇団全体としてアイデンティティーの意識を高め、地域の文化力を発信していくことを目的としています。平成27年度より地域の劇団として父母会による独立運営を目指しています。

設立以来、2回の立ち上げ公演を行い、オリジナル創作劇の公演を目指して取り組んできました。そして、いよいよ待望のオリジナル創作劇の公演が来年1月に行われることになりました。公演に向け、今年4月より毎週日曜日の通常稽古、演劇家・杉本孝司氏による集中稽古を行い、演技力のレベルアップを目指しています。稽古では、「意味のない言葉に意味を持たすのが俳優の演技力だ」など杉本氏から助言や指導を受け、和やかな雰囲気の中で子どもたちが意見を出し合いながら、それぞれが脚本の解釈を深め役作りに励んでいます。

今回のオリジナル創作劇は、子どもたちの演技に挑戦する姿だけではなく、会場全体を楽しませる舞台演劇となっているため、ご来場のみなさんが大いに演劇を楽しめる作品となっているということです。ぜひ、1月26日にマティダ市民劇場に足を運び、演劇の楽しさを味わってください。

### これまでの立ち上げ公演

#### 01 ゆうたっちょの中学生日記

初めての劇団公演だったにも関わらず、団員37名の躍動感溢れる演技に会場全体が大きな感動に包まれました。カーテンコールの後も拍手が鳴り止まず、暖かい声援が送られていました。



#### 02 ゆうたっちょの中学生日記 チェンジ・ザ・ワールド

第1回立ち上げ公演「ゆうたっちょの中学生日記」を小学生を中心として再演し、「チェンジ・ザ・ワールド」を高校生が中心となって演じました。のびのびとした演技で観客のこころをつかみました。





劇

団員、スタッフINTERVIEW

入団のきっかけや創作劇への意気込み!

チームリーダー

伊佐 瑞人さん (宮古高等学校)



子ども劇団に入る前も小さな小さな劇団に入っていて、プロに演劇指導してもらえると聞き、「真剣に演技をするんだ」と思い、子ども劇団に入団しました。

演劇はチームワークが大切で、劇団活動が始まり3年が経過しようとしており、今のチームはレベルアップしたチームとなっています。

今回の公演は、宮古島を題材にしているので、宮古島の歴史を感じながら、楽しんでみる事ができると思います。ぜひ、ご来場ください。

表現をすることがもともと好きで、そういう場が無いかなと探していたところ母から薦められ、子ども劇団に入団しました。劇団に入ったことで、人を観察することが増え、客観的に人を見るようになりました。

最初は30分しか持たなかったチームの集中力も稽古を重ねるごとに向上し、今では一通りの稽古ができるようになっていて、チーム全体が演劇を通して変化してきています。

オリジナル創作劇公演では、自分に似ているようで似ていない役を演じるので、公演までの期間の中でもっと観察して役を作っていきたいです。

チームリーダー

池田 玲奈さん (宮古高等学校)



演技指導・演出

杉本 孝司さん (東京芸術座)



宮古島の子どもたちは、とても素直な印象が強いです。3年間、宮古島の子どもたちに演劇を指導する中で、演劇を通して子どもたちの成長は加速しているように思えます。

役づくり、演劇をするにあたって、とても大切なことは「他人を認識すること」で、稽古を重ねていくにつれ、子どもたちはそのことができるようになってきています。子どもたちは、成長していく中

で人格を形成していきます。その過程で他人を軽視せずに正當に認識することが、他人とのコミュニケーションをとる上で大切になってきていて、その面で、劇団の子どもたちは演劇をとおしてコミュニケーション力が培われてきていると言えます。

今回のオリジナル創作劇は、子どもたちの演技だけでなく、舞台技術なども含めた舞台演劇を会場全体で楽しくお届けすることができると思っています。宮古島の皆さん、劇団の3年間の集大成である舞台演劇をぜひ、見て楽しんでください。

演劇集団ジョー・カンパニーによるワークショップ

「7-ナナ-」宮古公演の合間を利用し、現役の役者さんによる実践的な演技指導を受けることができました。代表の小野寺氏は、「団員の反応を見て、考えていたカリキュラムより高度なものに切り替えた。団員の能力に驚いた」と話していました。また「訓練を積めば素晴らしい劇団になるのでは」と感想を述べていました。



(写真提供: 子ども劇団父母会)

劇中に登場する宮古島の歴史や文化を見学!

創作劇の時代背景を理解し、役作りに励むため、父母会も参加し盛加井(ムイカガ)と宮古織物事業協同組合を訪れました。それぞれ担当の方に説明していただき、当時の宮古の人々の生活に理解を深めました。

↓ 宮古上布の製織作業を見学



(写真提供: 子ども劇団父母会、宮古織物事業協同組合)

INFORMATION

平成26年7月に東京都杉並区立杉並芸術会館「座・高円寺」にて東京公演予定!

はしり星にのって  
~あの空となり 海となり~

平成26年1月26日(日)  
マティダ市民劇場

第一回 開場12:30 / 開演13:00

第二回 開場15:30 / 開演16:00

入場料: 500円 (全席自由)

演出の都合上、乳幼児未就学児の入場はできませんので、ご了承ください。

初のオリジナル創作劇、  
ぜひご来場ください!

時は現代。その昔は貴重な水場であったウリガも、今は忘れられて訪れる人もあまりいない。そこに偶然やって来たのは、小学生から高校生までの少年・少女たちだ。そして、久しぶりに里帰りの大学生リョウ。それぞれに、進路や家庭などの不安や悩みを心の奥深くに抱えている。

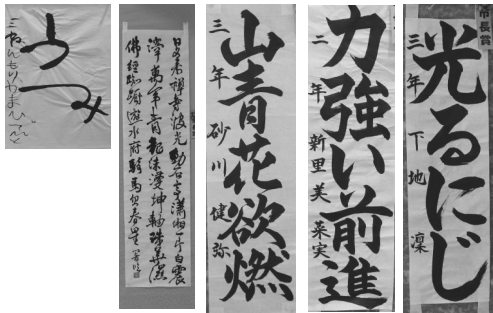
彼らはその洞穴の中で不思議な声を聞く。時はまさに百年に一度の大流星群の降る時刻。洞穴の奥で、元気で愉快な子どもたちが出会ったのは、昔々の宮古島の人々だった!



10月19日(土)・20日(日)の2日間、宮古島市中央公民館で第8回宮古島市民総合文化祭(児童・生徒の部)の作品展示会が開催されました。展示された作品の前では、児童が記念撮影をするなど、2日間笑顔が絶えない展示会となりました。

ここで、児童・生徒たちの個性的な作品の一部を紹介します。

書道部門



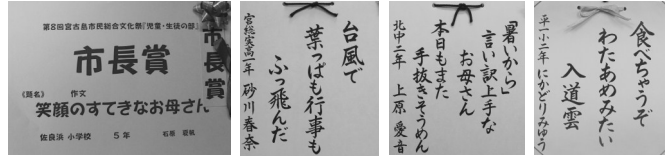
応募作品数 3821点

- 書道 524点
- 美術 235点
- 俳句 1353点
- 短歌 727点
- 作文 121点
- 詩 298点
- 自由研究 563点

来場者数 約900名



文芸部門



自由研究部門



美術部門



会場内の様子



第8回宮古島市民総合文化祭

『児童・生徒の部』作品展示会

宮古島市生涯学習フェスティバル

第9回

11月16日(土)・17日(日)の2日間、宮古島市中央公民館で第9回宮古島市生涯学習フェスティバルが開催されました。会場にはたくさんの方が訪れ、舞台上で行われた生涯学習の成果の発表を楽しんでいました。また、16日に行われた平田大氏の講演会では、熱く語る平田氏の話に耳を傾けていました。

学び育てる 文化のまち みやーく

舞台発表



ステージパフォーマンス



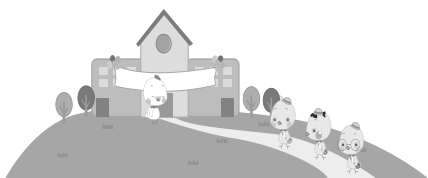
各種体験コーナー



講演会の様子







パニパニ☆スクール

## 下地中学校

SHIMOJI JUNIOR HIGH SCHOOL

10月26日(土)に生徒会(会長 安良城航平くん)の呼びかけで、与那覇湾に面するサニツ浜のボランティア清掃活動を行いました。この活動は、普段から親しまれているサニツ浜の清掃活動を通して、地域の自然環境を保全する態度を養う目的で行われました。

活動には、各部活動の生徒を中心に、保護者、職員、総勢40名が参加し、漂着ゴミや空き缶、ビニール製品等の人工物のゴミを収集することができました(ゴミ袋約20袋)。活動に参加したバスケットボール部の下里規矩君は「浮きや流木、ビンなどのゴミがたくさんありました。ポイ捨てをしないようにしてほしい」、同じく仲間嵐希くんは「普段から与那覇湾で釣りをして楽しんでいて、ゴミが意外に多かったのだから、これからもきれいな与那覇湾にしていきたい」と感想を語りました。また、美化活動だけでなく、作業を通して海岸の汽水域に生息するマングローブ(ヒルギ類)を観察し、その根元や岩の隙間に潜むガザミを見つけては歓声を上げ、足下の自然環境を見つめる絶好の機会となりました。

昨年7月3日に、水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約(ラムサール条約)に正式登録さ



## 地域の自然は私たちが守る

～与那覇湾(サニツ浜)清掃活動～

れた与那覇湾は、水鳥だけではなく、多くの動植物の生息地となっています。さらに、昔から、ツノマタ、海ブドウ、アオサ、エビ、魚介類等は自然からの恵みとして下地地区の住民の生活を支えてきました。今後も、生徒会を中心に地域のボランティア活動を通して地域の自然や人に関わり、足下に気付き、広い視野で行動できる生徒を目指していきます。



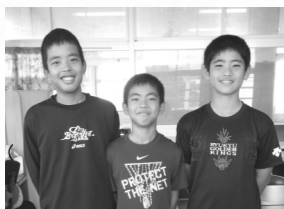
## スナッグゴルフ部が全国4位と大健闘!



第8回全日本小学生ゴルフトーナメント決勝大会・スナッグゴルフの部が、10月13日に千葉カントリークラブ川間コース(9ホール、パー36)で開催され、県代表の狩俣小学校チームが見事4位に入賞しました。決勝大会で、10チーム中上位3チームがトータルスコア77と並び中、狩俣小学校チームは上位チームに1打差のトータルスコア78と大健闘しました。

メンバーの伊良部龍侍くん、國仲孝明くん、根間陽市くんは、「初めての全国大会だったけど、ほどよい緊張感でプレーに集中できた」と話し、顧問の友利博輝教諭からは「メンバー全員が練習や県大会の時よりも個人スコアが伸び、全国大会で大活躍でした」とメンバーの活躍ぶりを話していました。チームは全国大会に向け、放課後の練習に加えて朝6時から7時までの朝練を行っており、その成果がベストプレーに繋がったようです。

狩俣小学校では、1年を通してミニバスケットボールと駅伝の部活動を行っている他、4月から6月までの期間はスナッグゴルフ部の部活動を行っており、全国大会出場を目指して頑張っています。



←全国4位と大健闘したメンバー  
(左から伊良部龍侍くん、  
國仲孝明くん、根間陽市くん)

## 下地中学校ICTを活用した授業公開!



情報通信技術を活用した「フューチャースクール推進事業」と「学びのイノベーション事業」の実証校に国から指定されている下地中学校で10月16日(水)に公開授業が行われました。教科は「社会」「理科」「保健体育」「英語」の4教科で、それぞれの教科でICT機器を活用しながら授業が進められていました。これから始まる未来の学校教育が楽しみです。



～自然災害の教訓を伝える文化財～ 「乾隆三十六年大波」碑

宮古島市教育委員会では、平成二十四年度に沖縄振興特別推進交付金を活用し、「乾隆三十六年大波」碑を修復しました。

この碑は、与那覇前浜後方の通称・前山と呼ばれる丘陵地の中に所在しています。材質はサンゴ石灰岩で、高さ六四センチメートル、幅二九センチメートル、厚さ十三・五センチメートルに加工されています。

碑文は著しく摩滅していますが、表文右上から「乾隆三十六年三月十日大波」、中央は「宮国新里砂川友利」と判読でき、一七七一年三月十日（新暦四月二四日）に、石垣島近海を震源地とする大地震のあと襲ってきた大津波による犠牲者を弔うために建てられたと伝わっています。

「球陽」によればこの大津波は、宮古島へは南方から前後三回に及び、波の高さは一二、三丈（約三六、三九メートル）、三丈五尺（約十・七メートル）、二丈五尺（七・七メートル）にも達したといわれ、特に友利、砂川、新里、宮国の四箇村は避難生存者が少なく、一村を作ることができないほどの被害であったといえます。そのため、佐和田、長浜、国仲、仲地、前里の五村から人民を移住させ、その後方の高所に新たな村を建て



たとされ、以降旧村跡を元島（むとうずま）と呼んでいます。この大津波による宮古島での死者は二五四八人にのぼり、東南方からの潮流にのって与那覇の前浜に漂着した遺体は、前山に収容し合葬して丁寧に葬り、小碑を建てたと記されています。

さて、これまで人目に触れることも少なかったこの「大波」碑は、旧下地町の頃から文化財に指定すべきとの声はありました。二〇一一年三月十一日の東日本大震災発生後、注目されるようになり、宮古島におけるかつての大災害を知り、地震対策や教訓を伝える観点からも宮古島市指定文化財に指定すべきとの声が挙がりました。しかし、当時の碑の状況は、半分程から斜めにひび割れが見られ、現状のまま放置しておけばさらに劣化していくことが懸念されていました。そこで、市教育委員会では、文化財指定に向けての取り組みと並行して、碑の石造文化財保存処理と修理を行いました。乾隆三十六年の大津波から二〇〇年以上が経過しています。災害は忘れた頃にやってくると言われるように、今後どのような災害に遭遇するかもわかりません。多くの犠牲の下にうまれた「先人の教え」を、永く後世へと語り継いでいければと思います。

教育研究所

第13期研究員が新しく入所しました！

10月1日(火)に「宮古島市立教育研究所第13期研究員入所式」が行われ、3名の研究員が新しく入所しました。来年3月までの期間にそれぞれのテーマに沿った研究を行っていきます。



下地 利津子 教諭

自ら進んで運動遊びを楽しむ保育の工夫  
—運動有能感をもてる子どもの育成を目指して—

たくさんの事を学び、幼稚園教諭や子ども達の役に立てるような研究を行っていけるように頑張りたいと思います。



下地 林 教諭

地域教材を生かして思考力・判断力・表現力を育成する  
指導の工夫—宮古島の農作物の学習を通して—

社会科学習における指導法の工夫改善を図り、自ら働きかけて学習に取り組める児童育成のため、研究に取り組んでいきたいと思ひます。



下地 直樹 教諭

主体的に考え道徳的実践力を高める学習指導の工夫

前期の離島長期研修に続いて、教育研究所で研修することになりました。道徳の授業を通して主体的に考え、よりよい生活のために行動できる生徒の育成について研究を進めます。

教育委員会

定例会・臨時会を開催しました

第6回(9月26日)、第7回(10月24日)定例教育委員会、第4回臨時教育委員会(10月15日)が開催されました。

第6回定例会では、スポーツマネジメントプラン検討委員会設置要綱等について審議が行われ、今後の宮古島市における体育館施設の有効活用、人材育成等に関する方針を策定することとなりました。第7回定例会では、体育館施設の設置及び管理に関する条例施行規則が審議され、平成26年度より体育館施設において指定管理者を指定し、管理を行わせることができるように規則改正されました。

また、第4回臨時会では、下地中学校・来間中学校統合協議会設置要綱、鏡原地区幼・小学校統合推進委員会設置要綱が審議・可決されました。下地中学校・来間中学校の統合に向けた協議がスタートすることとなりました。

【その他の審議事項】

- 宮古島市伊良部B&G海洋センター条例施行規則及び宮古島市伊良部B&G海洋センター職員の勤務時間に関する規則を廃止する規則について
- 平成24年度教育事務事業点検評価報告書について
- 宮古島市立学校選手派遣補助金交付要綱の一部を改正する訓令について

# TOPICS

なんと4年ぶり！

## レディースフットサル教室開催！

10月10日(木)～31日(木)市多目的前福運動場にて、4年ぶりにフットサル教室を開催しました。フットサル(室内サッカー)の特徴は、サッカーよりも少人数で小さなスペースで行われる点にあります。グリーンでフェアにプレーするように競技規則が設けられ、老若男女、誰でも楽しめるレクリエーションスポーツとして近年急速に愛好者を増やしています。市においても約200名(社会人のみ)がフットサルを楽しんでいます。

今回の教室には、期間中に約70名のレディースと子どもたちが参加し、基礎トレやシュート練習に励みスキルアップを目指しました。初回の教室から続けているメンバーは、「ストレス発散とダイエット効果、そして何より体調が良い！」とこれからも続けていきたいと意気込みを語ってくれました。紫外線も気にせず、快適な運動として良いかもしれませんね。



参加したレディースのみなさん



## 宮古市立下地中学校・来間中学校 統合協議会を開催しました

平成26年4月1日から下地中学校と来間中学校が統合されるにあたり、市教育委員会では、子供たちのより良い教育環境の構築に向け、下地中学校・来間中学校統合協議会を設置しました。本協議会の委員は18名で構成されており、教育委員会、下地幼小中学校保護者、来間小中学校保護者、両校の校長及び教諭、下地地域住民、来間地域住民、それぞれの代表者で組織されています。

第1回統合協議会が11月5日(火)、第2回を同月14日(木)に下地庁舎で開催しました。会議の冒頭で川満教育長から委員へ委嘱状が手渡され、会長に川満教育長、副会長に砂川隆夫氏が選ばれました。本会議では、通学に関することや生徒間交流に関すること等を話し合っていきます。

さっそく、11月24日(日)に行われた下地中学校伝統の強歩大会に来間中学校の生徒や教諭らも参加し、お互いの交流を深めました。

## 第2回教育講演会「家庭教育と学力」

### 子どもと会話できてる家庭が多い？

10月17日(木)・18日(金)に伊良部公民館とマティダ市民劇場にて、第2回家庭教育講演会「家庭教育と学力」を開催しました。西本裕輝・琉球大学大学教育センター准教授が「宮古島の学力向上のために」をテーマに講演し、学力向上には家庭からの支援がとても大切であるとし、保護者らに家庭教育の充実を呼びかけました。

沖縄県の学力が低い要因には、規則正しい生活リズムである「早寝・早起き・朝ごはん」が習慣化されていないことで、それに加えて、「家庭における親子の会話」も学力向上に影響していることをデータで紹介。データ結果から宮古島市は、全国平均よりも「家庭における親子の会話」ができてる家庭が多いことがわかりました。一方で、夜10時前就寝や規則正しい起床の習慣がまだ確立されていないこともわかりました。

早寝・早起き・朝ごはんの生活リズムを確立することは、子どもの健康を整えることにつながり、家庭・保護者の役割は大きく「うちの子は勉強できなくていいんです=不健康でいいんです」と同じ意味を持つと話していました。



琉球大学大学教育センター准教授 西本裕輝 氏

## 第2回宮古地区教育委員会協議会 総会・研修会を開催しました

第2回宮古地区教育委員会協議会総会・研修会が11月12日(火)に開催されました。総会では、平成26年度に開催される沖縄県教育委員会連合会研修会で協議される分科会の協議題案について話し合わせ、「地域と学校現場の関わりはどうあるべきか」、「青少年とインターネット利用環境について」等を宮古地区からの協議題案として提出することが確認されました。

また、研修会では池間中学校・砂川千賀教諭(教育研究所第12期研究員)のクラスを授業参観し、ICT機器を活用し工夫を凝らした授業の進め方など指導方法に対する理解を深めました。その他、綾道～あやんつ～砂川・友利コースの文化財視察を行い、友利のあま井等を訪れ宮古の歴史について認識を深めました。





## 第7回博物館講座

### 「平成23・24年度発掘調査速報」

市総合博物館では、10月12日(土)に第7回博物館講座「平成23・24年度発掘調査速報」の講演会を開催しました。講師に久貝弥嗣氏(市教育委員会文化財係)を迎え、平成24～25年度にかけて市内で行われた、ミズマ遺跡や友利元島遺跡を含む10件の発掘調査の報告およびこれらの遺跡の紹介をしていただきました。

また、本講演会にあわせて、10月3日(木)～13日(日)の期間、当館特別展示室にて講演会で紹介された遺跡の概要を写真やパネルにまとめ展示しました。実際に遺跡から出土した遺物も展示いたしました。より多くの方々が埋蔵文化財(遺跡)への理解を深め、宮古の歴史に関心を持っていただけた講座になりました。



← 展示会および講演会の様子

## 特別展示

### 「平成23・24年度新収蔵品展」

市総合博物館では、10月23日(水)から11月8日(金)まで、特別展示「平成23・24年度新収蔵品展」を開催しました。本特別展示では、平成23年4月から平成25年3月までに当館に寄贈・寄託された資料や、新たに収集した資料を歴史・民俗・美術・自然の4つのテーマに分けて展示・公開しました。

今では目にしなくなった資料を前に、大人たちは昔を懐かしみ思い出話に花を咲かせ、子どもたちは未知の道具に興味津々に目を輝かせていました。本展示会は、資料を寄贈・寄託してくださった方々のご厚意に感謝すると共に、市民の皆様幅広く紹介することを目的としており、とても充実した展示会となりました。



## 成人式のお知らせ

晴れて成人の仲間入りをする若者たちの輝かしい出発の門出を祝福し激励するため、下記のとおり「平成26年成人式」を開催しますのでお知らせします。

**対象** 平成5年4月2日～平成6年4月1日生まれの方

**日時** 平成26年1月5日(日)

**開場13:30/開会14:00**



※平良地区では、会場ロビーに展示する新成人による「20歳の決意」、そしてこの決意を当日ステージで発表する新成人を募集しています。また、市民のみなさんから新成人者への「お祝いメッセージ」も募集しています。

【募集期間】平成25年11月18日(月)～12月27日(金) 【応募方法などの問い合わせ】生涯学習振興課 ☎77-4957

| 地区名   | 会場                  | 問い合わせ先                       |
|-------|---------------------|------------------------------|
| 平良地区  | 文化ホール<br>(マティダ市民劇場) | 教育委員会 生涯学習振興課<br>TEL 77-4946 |
| 城辺地区  | 城辺公民館(改善センター)       | 城辺支所 地域係<br>TEL 77-4905      |
| 下地地区  | 下地農村環境改善センター        | 下地支所 地域係<br>TEL 76-6001      |
| 上野地区  | 上野公民館(改善センター)       | 上野支所 地域係<br>TEL 76-6821      |
| 伊良部地区 | 伊良部公民館              | 教育委員会 伊良部分室<br>TEL 78-6254   |

## 12月・1月の行事予定

- 特別展示「金子喜久子展」  
12月11日(水)～/総合博物館
- 子ども劇団創作劇公演  
「はしり星にのって～あの空となり 海となり～」  
1月26日(日)/マティダ市民劇場
- おはなし会 平良/毎週土曜日 城辺/第1日曜日

## 編集後記

宮古島市子ども劇団取材に訪れると、想像していたより和やかで笑顔あふれる稽古場であることに驚きました。杉本氏の演技指導に加え、劇団員同士で意見を出し合いながら劇をつくる姿に感激しました。来年1月の公演にぜひ足を運んでみようと思います。

編集担当:教育総務課

## 市総合体育館・陸上競技場利用スケジュール

H25.11.21現在



### 市総合体育館

|               |                                      |
|---------------|--------------------------------------|
| 12/7(土)・8(日)  | 第25回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会             |
| 12/14(土)      | 第36回団体戦/バドミントン大会                     |
| 12/15(日)      | 第32回池村杯卓球大会                          |
| 12/22(日)      | 共和産業旗壮年/バレーボール大会                     |
| 1/11(土)       | 第33回春季中体連卓球大会                        |
| 1/12(日)       | ライカムスポーツ杯混合ダブルス/バドミントン大会             |
| 1/18(土)・19(日) | 第33回春季中学校総合体育大会開会式<br>春季中体連/バレーボール大会 |
| 1/26(日)       | 学生ダブルス/バドミントン大会                      |

### 陸上競技場

|               |                  |
|---------------|------------------|
| 12/7(土)       | 第51回全宮古中学校陸上競技大会 |
| 12/15(日)      | 中体連県陸上代表選考記録会    |
| 1/11(土)       | 平成25年度高校駅伝大会     |
| 1/18(土)・19(日) | 第68回全宮古陸上競技大会    |

※施設使用の詳細は、市民スポーツ課までお問い合わせ下さい。

市民スポーツ課 ☎73-4469 (月曜休館)